

音楽科学習指導案

1 題材名 日本の伝統芸能（能、文楽、歌舞伎）の魅力味わおう

2 題材について

歌舞伎や文楽には、能の様式や題材を取り入れ、創意工夫を加えて独自の演目としているものがある。本題材では、能「安宅」、歌舞伎「勸進帳」、文楽「鳴響安宅新関」“勸進帳の段”を中心に比較鑑賞する。音楽、役者の動き、歴史や舞台の特徴を探り、表現の多様性を理解し、表現の共通性や固有性について考えることを通して、何百年の間受け継がれている日本の伝統芸能の魅力に迫りたい。また、タブレットを用いて各自のペースで音の確認をすることで生徒の主体的な学びを促したい。

3 学校研修課題との関連

本時の学習では、能、文楽、歌舞伎を比較鑑賞し、見つけた音楽表現の工夫を自分の言葉で表現して、仲間と確認したり、音楽表現の工夫に対する考えを伝え合ったりすることによって、「読み解く力」のうち「情報を比較し、関連付けて整理する力」の育成を図りたい。また、他者の意見から学び、自分の意見を再構築してまとめることで、互いの学びを深め合うことができると考えられる。

4 本時の学習（1 / 4時間）

(1) 目標

- 能、文楽、歌舞伎の音楽の特徴と多様さに関心をもち、鑑賞活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽表現の工夫を見付けることに取り組むことができる。

(2) 展開

学 習 活 動 (配時)	指導上の留意点 ◆評価 (方法)
<p>1 題材と本時の目標と流れを知る。 全体 (2)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: 80%;"> <p>能、文楽、歌舞伎の音楽表現の工夫を探そう。</p> </div>	<p>・4時間の活動内容を伝え、見通しをもたせる。</p>
<p>2 能「安宅」、文楽「鳴響安宅新関」、歌舞伎「勸進帳」の「これやこの～」を鑑賞し、「声」、「楽器」、「その他」の音楽表現の工夫に気付く。 全体・ペア・個人 (20)</p> <ul style="list-style-type: none"> 音楽を聴き、気付いたことや感じたことを書く。 ペアで意見交換を行い、共有する。 個々でタブレットを用いて聴き、更に気付いたことや感じたことを書く。 全体で発表し合い、音楽を聴いて確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 音楽を形づくっている要素である「音色」、「旋律」を手がかりに鑑賞させる。 意見交換や発表し合う際、自分が気付かなかったことをワークシートの別枠にメモさせ、気付きを広げていくよう促す。 困っている生徒には、比較して気付いた違いや気になったことを書くよう助言する。
<p>3 映像を視聴し、更に音楽表現の工夫に気付く。 全体 (10)</p> <ul style="list-style-type: none"> 気付いたことや感じたことを書く。 発表し合い、視聴して確認する。 	<p>◆主体的に学習に取り組む態度 能、文楽、歌舞伎の音楽の特徴と多様さに関心をもち、鑑賞活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽表現の工夫を見付けようとしている。 (観察・ワークシート)</p>
<p>4 楽器名や演奏形態の説明を聞く。 再度映像を視聴し、特徴を確認する。 全体 (10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の気付きと結び付けながら説明する。 気付いたことはワークシートに追記していくよう伝える。
<p>5 各芸能の音楽表現の魅力を書く。 個人 (5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 困っている生徒には、気になったことを具体的に書くよう助言する。
<p>6 「振り返りシート」に本時の振り返りを記入する。 個人 (3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 次回は「役者の動き」に注目することを伝える。

(3) 評価基準 (ルーブリック)

- ……自分の意見を伝えたり、ワークシートにまとめたりし、他者の意見から自分の意見を広げたり、深めたりしている。
- ……自分の意見を伝えたり、ワークシートにまとめている。

c ……自分の意見を伝えたり、ワークシートにまとめていない。